

UTokyo Slack説明会

パート2

「既存ワークスペースの編入（移行）について」

2022年8月31日

本日の説明者等

- 玉造 潤史 (東京大学 情報システム本部副本部長・准教授)
- 水上 順一 (東京大学 副理事・情報システム部長)
- 竹内 朗 (東京大学 情報システム本部)
- 南雲 尚子 (株式会社セールスフォース・ジャパン Slackカスタマーサクセス本部)
- 目崎 徹 (アビームコンサルティング株式会社 HCMセクター)
- 平野 正徳 (東京大学 工学系研究科・ECCS相談員)

Slido（質疑応答）

質問はSlidoで受け付けます。

<https://app.sli.do/event/psFfzkzp8TbfbJCcg8jkK9/live/questions>

※パート1では大変多くのご質問ありがとうございました。
いただいたご質問については、説明会ページにまとめを掲載して、
回答をご確認いただけるようにする予定です。

いましばらくお待ちください。

（対応に時間がかかり申し訳ありません🙇）

目次

1. 説明会の構成
2. パート1の振り返り
3. パート2の概要
4. 編入（移行）の詳細
5. 編入以外の対応方法：APIを用いた「移植」
6. UTokyo Slack 以外での個別の有償契約について

説明会の構成

説明会の構成

パート1からパート3の3部構成となっています。

パート1「概要とワークスペースの作成について」（8月24日）

UTokyo Slack の概要と、新規にワークスペースを作成して利用を始めるために必要なことを説明しました。

説明会の構成

パート1からパート3の3部構成となっています。

パート2「既存ワークスペースの編入（移行）について」 （本日）」

現在お使いいただいている既存のワークスペースがある場合に、それをUTokyo Slackとして利用するための特別な手続きがありますので、それについて説明します。

説明会の構成

パート1からパート3の3部構成となっています。

パート3「学内でのこれまでの活用事例」 (9月上～中旬予定)

学内での活動でSlackを活用した事例について紹介し、Slackの利用方法について具体的なイメージを持っていただけるような知見を共有します。

パート1・パート2では時間の都合で、Slackをどう活用するかの話は詳しくできませんので、特にSlackの利用が初めての方・利用経験の少ない方は、こちらのパート3にもご参加ください。

パート1の振り返り

ワークスペースの作成・運用

- ワークスペースの作成は、教職員からの申請で受け付けます。
- 東京大学における活動のため全学的に整備・運用されているシステムであることを踏まえ、適切な利用となるよう責任を持って管理・運用してください。
- 通常のSlackワークスペースとは仕様が異なる点があります。
 - 東京大学全体で一つの「オーガナイゼーション」という管理単位があり、それぞれのワークスペースはそのオーガナイゼーション内に作成されます。
- 利用対象者はUTokyo Accountを持っている構成員です。

「試行」としての運用について 【再掲】

当面の間は「試行」として運用します。

- なるべく迅速に利用開始できるように「試行」という形を取ることになりました。
 - 継続して運用する前提のもと、実際にご利用いただきながら設定や機能の調整を行う期間と位置付けます（運用を終了する予定があるわけではありません）。
- 利用者の皆さんからのフィードバックをお願いします。
 - 特に、設定の改善が必要な点などにお気づきの際はご連絡ください。
- 個々の設定が変更されたり、特定の機能が無効化される可能性があることをご了承ください。

実際に参加してみる【再掲】

誰でも利用できるワークスペースを2つ用意しています。

• UTokyo アゴラ

- 東京大学の構成員であれば誰でも参加できるお喋りの場として
- Slackを初めて使う方の練習の場所として

• UTokyo Slackワークスペース運用情報交換

- ワークスペースの管理・運用をされる方を中心とした情報交換の場

UTokyo Accountの多要素認証の有効化を済ませていれば、
<https://utokyo.enterprise.slack.com/> から参加できるようになっていますので、この場で試してみてください。

詳細な参加手順：<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/slack/join>

パート2の概要

編入（移行）の概要

- 編入（移行）：現在UTokyo Slack以外でお使いいただいている既存のワークスペースがある場合に、それをUTokyo Slackとして利用するための特別な手続き
- 手続き完了後は、新規にワークスペースを作成した場合と同様の制約やルールに沿って利用することになります。
 - 特に、ワークスペースのメンバーはUTokyo Accountを持っている構成員のみとなります。
- 詳細はuteleconポータルサイトに掲載します。
→ [UTokyo Slackへの既存ワークスペースの編入（移行）](#)

実施までに相当の期間がかかります🙄

- UTokyo Slack全体で1営業日あたり1ワークスペースが上限
 - Slack側で個別に作業を行うため、これ以上の件数増加ができません
- 単純計算すると、本日の参加登録者数（1人1ワークスペース申し込みと仮定）の処理に1年近くかかります。
 - 録画で見る方や1人で複数ワークスペースの申し込みも考えると、最悪その数倍～10倍程度も想定
- UTokyo Slackにおけるワークスペースの利用は、新規にワークスペースを作成する形での利用を基本と考えています。

既存ワークスペースの今後の利用については、**編入（移行）手続き以外による対応もあわせてご検討ください。**🙄

編入（移行）以外の対応方法

既存ワークスペースの今後の利用については、**編入（移行）手続き以外による対応もあわせてご検討ください。** 🤖

- UTokyo Slackのワークスペースを新規に作成して利用することもご検討ください。
 - 既存ワークスペースのメッセージは、プログラムを使って擬似的に再現（**移植**）する方法があります。（この後紹介があります）
- 現在の無償利用・有償契約の各プランで引き続き利用することができないか、ご検討ください。また、個別に有償契約を行うこともご検討ください。
 - 個別の有償契約で[教育支援プログラムによる割引](#)を受けるための手続き（証明書など）をスムーズに行えないか検討・調整中（後述）

目次

1. 説明会の構成
2. パート1の振り返り
3. パート2の概要
4. 編入（移行）の詳細
5. 編入以外の対応方法：APIを用いた「移植」
6. UTokyo Slack 以外での個別の有償契約について

編入（移行）の詳細

編入（移行）の詳細

別ファイルの資料で説明します。

編入以外の対応方法：
APIを用いた「移植」

APIを用いた「移植」

別ファイルの資料で説明します。

UTokyo Slack 以外での
個別の有償契約について

個別の有償契約について

- 教育機関としての利用であれば、Slack社が実施している[教育支援プログラムによる割引](#) (85%) を受けられる場合がある
- 手続きには証明書が必要
 - 3ヶ月以内に発行されたもの
 - 部局長（研究科長など）名で、印鑑またはサインがあること
- 利用状況などに基づく審査でSlack社に認められる必要がある
 - 証明書だけで審査されるわけではない

なお、よりスムーズに手続きできるような方法を案内できないか、検討・調整をしています。